

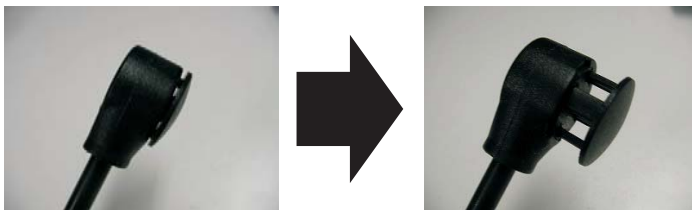
■ セルフメンテナンスのすすめ! Vol. 15



長期間レーザー加工機を使用している、または、頻繁にレーザー加工機のトップドアを開閉している場合、トップドアを持ち上げている(支えている)「プレッシャーシリンダー」の油圧が低下し、トップドアを支え切らずに、落ちてくる(閉まる)ことがあります。トップドアを開けて 料をセットしたり、高さ合わせをしている最中に、いきなりトップドアが落ちて(閉まって)しまい、思わぬケガをする場合がございますので、このような場合は、「プレッシャーシリンダ」の交換が必要です。機種にもよりますが、ワンタッチで簡単に取付・取り外しができるタイプが多いので、これを機会に「最近トップドアの開閉がごちない」とか「トップドアが落ちてくる」などのユーザー様は交換をお勧め致します。当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。



M-300 & M-360



「プレッシャーシリンダー」の先端のロックを外して、そのまま引き抜く

■ レーザーラバー価格改定リストに関する件

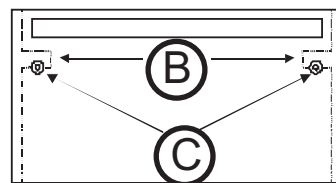
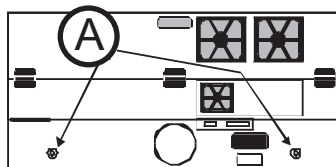


度々レーザー加工機の価格改定のご案内をさせていただき、ユーザー様には大変ご迷惑をおかけいたしております。印章店様をはじめとしまして、過去数年内に弊社レーザーラバーを販売いたしましたユーザー様には郵送およびFAX送信にて4月1日よりの新価格(レーザーラバー全アイテム)をご案内させていただきました。ご案内には送信漏れのないよう十分に注意いたしましたつもりですが、万が一ご案内が届いていないお客様、あるいは眼にされておらず内容のご確認を要望されるお客様は、以下までご連絡いただければ早急にリストをお送りさせていただきます。

担当 本社商品部 小島 裕 kojima@uesltd.co.jp

■ 火災発生に注意!

火災が発生する原因の多くは、アシストエアが加工中に稼働していない場合ですが、もう一つあります。レーザー加工機本体の奥にある、排気プレナムという吸塵口の中が汚れている、または、ゴミによって空気の通り道が遮断されていることがあると、レーザー加工機内部に粉塵やガスが充満し、それらが引火することによって、火災が発生します。集塵機や集塵脱臭装置のメンテナンスをしても、吸気口やダクトがゴミによって、詰まっていると集塵機や集塵脱臭装置のスイッチを入れていても意味がありませんので、みなさまご注意ください。



排気プレナム清掃方法

- ①システムの電源を入れます。
- ②Z軸を操作してZ軸テーブルを最高位置まで上昇させ、システムの電源を切ります。
- ③レーザーシステム後部の2個のネジ(A)を外します。
- ④前面扉を開きます。両手を使用し、内部の排気プレナムを、プレナムのタブ(B)が血頭ネジ(C)から外れる高さまでまっすぐ持ち上げます。次に、プレナムの底部を自分の方向に向けて回転させ、システムから取り外します。洗剤と水の混合溶液を使用し、プレナム内部とレーザーシステムの背面壁内側を掃除します。
- ⑤プレナムの装着は、取り外しと逆の方法で行います。その際、プレナムのタブが血頭ネジに乗るように装着してください。

■ UES社員コラム Vol. 4 大阪営業所長 加藤雅史



昨年の6月まで東京で営業をしていました。今は大阪で単身赴任を楽しんでいます。休みの日はもっぱら魚釣りをしています。関西は釣りの出来る場所が沢山あるので、今度は何処に行こうかといつも迷ってますので、みなさんのお勧めなどがありましたら、営業でお伺いした際にぜひ教えてください。